

ボランティアフォローアップ講座⑦  
「第34回ボランティアつどい」報告  
～みんなであつまんべや～



今年度の『ボランティアのつどい』は、佐倉地区のミレニアムセンターで開催しました。「見直そう身のまわり 地域の支え合い」をテーマに、日頃様々な分野で地域活動やボランティア活動をしている皆さんとともに、分科会、体験学習、フィナーレをとおして交流しました。多数の方にご協力、ご参加いただき、大変ありがとうございました。



日時：平成28年2月11日（木・祝） 午前10時～午後3時  
場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール、3・4階 会議室  
参加者：約200名

### プログラム

- 10:00 開会式  
開会宣言 佐倉市ボランティア連絡協議会会長 寺田 純子  
挨拶 佐倉市社会福祉協議会会長 左奈田 雄一  
来賓挨拶 佐倉市長 藤 和雄 氏
- 10:20～11:50 分科会  
◆第1分科会 『地域の支え合い』 2階 ホール  
◆第2分科会 『若い力』 4階 会議室
- 11:50～12:30 昼食タイム
- 12:30～14:00 体験タ～イム！  
◆昔あそび・ものづくりのおへや 3階 会議室  
◆環境のおへや 4階 会議室
- 14:15～14:55 フィナーレ  
◆分科会・体験の発表&まとめ  
◆みんなであつまんべや！
- 14:55 閉会式  
挨拶 第34回ボランティアのつどい副実行委員長  
塩田 倬雄（佐倉印旛沼ネットワークの会）



開会式



フィナーレ

### 協力をいただいた方々（敬称略）

佐倉城の辺地区社会福祉協議会、佐倉東部地区社会福祉協議会、内郷地区社会福祉協議会  
順天堂大学スポーツ健康科学部、千葉県立佐倉西高等学校、かぶらぎボランティア、ローズクラブ  
サクラ・スマイル・サービス、公益社団法人佐倉青年会議所、SAKURABILITY  
アパコミごましお会、佐倉印旛沼ネットワークの会、さくらネイチャーゲームの会  
NPO 人づくり街づくり環境づくり、ボランティア桜、むぎの会、鳥海孝範  
積善会・真野初枝・佐倉市市民公益活動サポートセンター（昼食）、川合忠雄（写真撮影）

主催：佐倉市ボランティア連絡協議会

共催：佐倉市社会福祉協議会

後援：佐倉市・佐倉市教育委員会

運営：第34回ボランティアのつどい実行委員会（敬称略）

実行委員長：住吉アキ子（個人ボランティア）、副実行委員長：塩田倬雄（佐倉印旛沼ネットワークの会）

委員：高橋京子（心のふれあいボランティア「ひびき」）、俵山昌子（心のふれあいボランティア「ひびき」）

山崎浩子（むぎの会）、川島幸一（個人ボランティア）、酒井いつ子（個人ボランティア）

脇阪亨（個人ボランティア）

## □第1分科会『地域の支え合い』（2階ホール）

地区社協・ボランティア団体の活動紹介をとおして、地域の支え合いを考える分科会です。



### 佐倉城の辺地区社会福祉協議会 虹のサービス（鳩谷 定夫さん）

住み慣れた地域で元気に安心して暮らせるように家事援助を中心に自立の手助けを行うサービス事業を行っています。

庭木・草取り・家事(台所の片付け)など、多くの高齢者・障がい者の方々に利用いただいています。



### 佐倉東部地区社会福祉協議会 （真部 武美さん）

近隣小中学生とのあいさつ運動を実施しています。標語を募集しのぼりなどで掲示しています。

佐倉東中の裏山を地域のふれあいの場にしようと5か年計画で整備しています。平成27年度には、タケノコ狩り、野草の勉強会、竹林の清掃、竹の伐採、しいたけ栽培などを実施しました。



### 内郷地区社会福祉協議会 （櫻井 肇さん）

地域の交流をメインに活動しています。平成27年度には、高齢者食事会、敬老の集い、ふくしまつり、内郷小の通学合宿での食事の支援、ウォーキング大会、福祉委員研修、地区歓談会、住民懇談会などを実施しました。今後とも地域のニーズに合った活動を実施します。



### ローズクラブ （浅野 訓子さん）

宮前ローズタウンによる地域の支え合いの活動を実施しています。ゆるいつながりとして、「楽しみながら役に立つ」をモットーにサークルや食事会を実施。顔が見えるつながり、お節介のまちづくりです。互いを気に掛けながら、気軽に頼り・頼られるまちを目指しています。



### かぶらぎボランティア （篠原 知恵子さん）

鎗木町を対象に地域の子ども・子育てや高齢者を支援する活動を実施しています。以前に、施設ボランティアや子ども、高齢者、弱者がともにくつろげる場「とまり木」を開催していただきが地区社協に変わっていただき、今後は、無理をしない範囲で一人暮らしの高齢者や弱者の支援をしていきたいと思っています。



### ボランティア桜 （杉本 圭子さん）

精神障がい者に対する支援をたまりは「さくらんぼ」で月2回実施しています。

軽いストレッチ、一日の過ごし方、お知らせの後、一緒に食事づくりやそれぞれ好きなことで過ごします。どなたでも立ち寄れる場としていきたい。お宅から出られない人がいたら、声をかけてください。



進行の高橋京子さん  
（実行委員）





## □第2分科会『若い力』（4階会議室）

若い力にスポットをあてた発表と意見交換をする分科会です。

### サクラ・スマイル・サービス

（千葉 茂さん）

御伊勢公園を中心に京成臼井駅周辺を毎月1回1時間、ごみ拾い。中高生中心で活動を行っています。

「自己の成長と社会に影響を与える」をスローガンに、人の為に何かをしようと思える文化「為生き文化」を実行中です。



### 千葉県立佐倉西高等学校

（青木 陸樹さん・小澤 美咲さん・宮内 瑞嬉さん）

東邦大学医療センター佐倉病院（佐倉市下志津）で、看護部と共同で、「七夕飾りつけ」「クリスマスの人形劇・読み聞かせ」等を実施しています。地域の清掃活動や地区社協と協力して募金活動も行っています。



### 公益社団法人 佐倉青年会議所

（三橋 健司さん）

明るい豊かな社会の実現のため、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、まちづくりやひとづくりの事業を行っています。

メンバーは20～40歳（規定）。わんぱく相撲佐倉場所や市長選時の公開討論会等を主催。花火大会のボランティアやマラソン大会のお手伝い等も行っています。



### SAKURABILITY

（鳥海 孝範さん）

佐倉市を「もっと、集まる街へ」。「この街にできること」を話し合い、実現し、持続するための集合体。

佐倉を愛する9人のメンバーが立ち上げた、トークセッション型の地域活性化イベント「サクラビTALK」を開催しています。



進行の豊田理英子さん  
（V 連役員）



## □食事タイム（4階調理室）

混ぜご飯と温かい豚汁を、150円で販売しました。





□体験タ～イム！（3階・4階会議室） 昔あそびやものづくりと環境を考えます。



体験タ～イム！3階会場の様子



★けん玉・おり紙  
[内郷地区社会福祉協議会]



★人形おり紙  
[アパコミごましお会]



★コマまわし  
[人づくり街づくり環境づく]



★はさみ細工 風車を作ろう！  
[佐倉東部地区社会福祉協議会]



★新聞紙エコバッグ  
[鳥海 孝範]



★みんなで挑戦！印旛沼クイズ  
[佐倉印旛沼ネットワークの会]



★ネイチャーゲーム  
[さくらネイチャーゲームの会]



★簡易コンロづくり  
[むぎの会]

□フィナーレ（2階ホール）

◆分科会・体験の発表&まとめ◆

- 分科会の報告（発表）
- 体験タ～イム！の概要と感想（発表）
- 質疑応答
- まとめ アドバイザー 松山 毅 先生  
(順天堂大学 スポーツ健康科学部健康学科准教授)



皆さんのパワーあふれる活動報告を伺って、ボランティア活動の原動力って何だろうと考えさせられました。地域の支え合い活動や若い人たちの地域貢献など、様々な人や社会との出会いを通して、ボランティアだからできること（人を笑顔にする、など）を再確認しました。また、体験タイムでは、地域の人材の豊富さにも気づかされました。つどいを通してアナログな社会関係の大切さを実感した一日でした。

◆みんなで体をほぐしましょう！◆

会場の参加者全員で、心も体もほっこり暖くなる体操を順天堂大学の学生の指揮のもと行いました。



## □参加者の感想・意見（アンケート結果）

参加者の皆さんからたくさんの感想・意見をいただきました（回収：28枚）。ここにその一部を紹介します。

多くの方から「参加してよかった」「楽しかった」などの感想をいただきました。一方、運営の不手際（パワーポイントの映写や会場の照明など）に対するご意見もありました。こうした皆さんの意見を踏まえ、次回のボランティアのつどいの準備をいたします。

## ■分科会・体験タ～イム！・フィナーレは、どうでしたか？

	分科会	体験タ～イム！	フィナーレ
よかった	86%	71%	90%
まあまあよかった	7%	29%	10%
あまりよくなかった	4%		
よくなかった	4%		
回答数	28	17	10

割合は、各項目に対する回答割合／四捨五入の関係から計は100%ではありません。

## ■今回のつどいについての意見・感想・要望

### 《全般的な感想など》

- ・みんなとても楽しそうに参加していたので良かった。いい体験ができた。
- ・初めての参加だが、とても楽しかった。ボランティア活動をさらに継続していきたい。
- ・こういう形は初めてだがこれも良かった。前回の形も良かった。
- ・いろいろな団体の人がボランティアに参加しているんだなあと思った。ボランティアについて深く知ることができた。つどいに参加して、とてもためになった。
- ・自分が考えていたものより、ボランティアは大きいものでした。
- ・周到な計画と運営に感謝。皆さんが会場入りや会場準備時に声を掛けてくださり同じ志しの集いという暖かさを感じた。ありがとうございました。
- ・好天に恵まれ、ほどほどの人数が集まり、成功と言えるでしょう。企画は、それなりに良かったと思うが、そもそも“ボランティアのつどい”の開催意義・目的はどこにあるのかしら？と思う部分もあった。
- ・V連行事はどれも人数が多いので、定員制にして欲しい。

### 《分科会の活動発表について》

- ・どのボランティアの会も、高齢化が進み、活動に苦労している様子がわかった。
- ・各地域のボランティアの活動内容をいろいろ聞いてとてもよかった。
- ・いつも志津地区の話は聞いているが、佐倉地区の活動の話が聞いて良かった。私達と同じ活動の話もあったけど、また、別な意味で参考になった。
- ・6団体の体験発表は、みなすばらしかった。今後もなお一層充実してやっていただきたい。
- ・佐倉東部地区の発表は、現実のパネルを通してわかりやすく、部員も大人子どもに交流を持ってすばらしい。活動を続けてください。
- ・みなさんが生き生きと活動されているのを聞いて、私も頑張ろうと思った。
- ・すばらしい活動を知り力強く感じた。地区社協としても、協力していきたい。
- ・たくさんの団体があることを知り、私もいつかどこかに入り、力になればうれしいなあと思った。サクラスマイル：挨拶の大切さを教えてもらった。青年会議所：お金を払いながらの活動や年齢制限があって驚きでした。サクラビリティ：年齢関係なく会議の後には交流会（食事会）をして仲を深めていて良いなあと思った。自分たちの話をたくさんの人に聞いていただき、来られてよかったなあと思った。また、いろいろ聞いて良かったなあと思った。
- ・分科会で発表された団体などが、V連加入者以外の方々がほとんどだったのが良かった。今後V連の加盟につながれば良いと思う。

### 《昼食について》

- ・昼食は大変おいしかった。ありがとうございます。



《体験タ〜イム！について》

- ・子ども達が楽しんでた。各ボランティアグループが熱心に対応していて好感が持てた。
- ・大人も子供も盛り上がっていた。
- ・体験タ〜イム！（4F）でゆっくり他のボランティアの方とお話ができ楽しかった。印旛沼の事を自分が知らなすぎて、ショックでした。もっと関心を持たないと、と思いました。
- ・体験にあまり参加できなかった。

《佐倉地区（ミレニアムセンター）での開催について》

- ・今回佐倉でのことで、参加しやすかった。もっといろんな一般の方にも参加してわかってもらいたかった。
- ・佐倉地区ということで、他地区の時になかなか参加されなかった方達の顔を見ることができた。

■次回の和田ふるさと館での開催についての意見・要望など

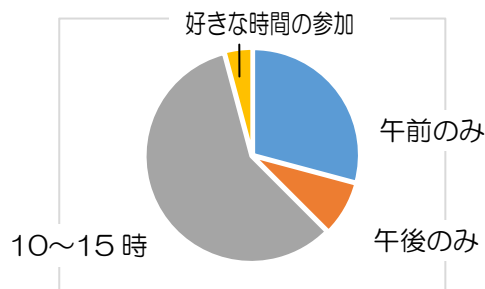
《佐倉の南部地区での開催について》

- ・いろいろな地区での開催は素晴らしいと思う。
- ・各地域を回ることは、とてもいいことです。
- ・地域の特色ある活動が聞ければと思う。
- ・いつも見られない自然の中の活動が聞きたい。
- ・ボランティアの体験発表をもう少し増やして10話してもらいたい。

《場所について》

- ・南部地域だと、人が集まらないのでは？交通の便も悪いので。
- ・交通の便を考える必要あり。バス便が1日に2〜3本しかないので、参加が難しいと思う。
- ・駐車場は充分ですか？遠隔地のため、車使用でないと参加できない。
- ・交通手段上、不便なところなので、社協のバス（根郷）を事前に確保し、連絡バスとして運行されたらよいと思う。
- ・交通の便が悪いので、送迎バスは考えられるか？駐車場の確保、整理(管理)をきちんとしてないと混乱するのでは…と懸念する。ボランティアのつどいのねらいを明確にする必要があるかな？
- ・駅中心にわかりやすい案内(マップ・場所)を持って欲しい。

■つどい開催時間で、参加しやすい時間



■企画・運営・開催にあたって



実行委員長：住吉アキ子（個人ボランティア）

ミレニアムセンターの会場の特徴を生かし分科会を2テーマにしたことで大いに盛り上がりました。そのテーマを聞きたい人が聞くという分科会の本来の目的が達成されました。体験タ〜イム！も小さなスペースが人と人との距離を縮めました。フィナーレでは、みんなでホールに集まり分科会の報告とまとめを聞き、体をほぐし気持ちが一つになりました。ボランティアの団体・個人の方たちに支えられての「つどい」です。その方たちが繋がって行けますように、また来年の「つどい」でお会いしましょう。ありがとうございました。

副実行委員長：塩田倬雄（佐倉印旛沼ネットワークの会）

実行委員として初めての「つどい」参加ですが、スタッフの皆様のご援助をいただき無事役目を果たすことが出来、心より感謝いたします。「つどい」の分科会発表や体験タイムで学んだ様々なノウハウを今後の活動に活かすため努力いたします。

